

# 米原万里展



## ロシア語通訳から作家へ

Выставка-воспоминание "Мари Йонэхара"

2010年 3/27 土 ~ 5/9 日 9:30 ~ 16:30 (入館は 16:00 まで)

月曜日休館 [ただし 5/3(月・祝) 開館、6(木) 休館]

【関連イベント】 無料(入館料のみ必要) 各回先着 50名

### ■講演会

「翻訳を通して見る米原万里の魅力」 3月27日(土) 15:00~16:00 講師: 李賢進(韓国語翻訳者・帝塚山大学講師)

「米原万里さんの思い出」 4月18日(日) 14:00~15:00 講師: 沼野充義(ロシア東欧文学者・東京大学教授)

「プラハ時代の米原万里」 4月29日(木・祝) 14:00~15:00 講師: 井上ユリ(料理研究家・米原万里の実妹)

### ■ギャラリーコンサート

「ヴァイオリンとピアノで楽しむチャイコフスキー」 4月10日(土) 14:00~15:00 演奏: 小関郁(ヴァイオリン)、安部まりあ(クラビノーバ)

「ロシア民謡のひと時」 4月25日(日) 14:00~15:00 演奏: 中川美和(ソプラノ)、津々見由里(クラビノーバ)

※出演者、内容等は変更となる場合がございます。イベント開催時には会場が混雑する場合がございます。ご了承ください。

市川市芳澤ガーデンギャラリー 千葉県市川市真間 5-1-18 TEL 047-374-7687  
<http://www.tekona.net/yoshizawa/index.php>

【入館料】 一般 200円、ローズメンバーズ 160円、団体割引(25名以上) 160円、中学生以下無料、障害者手帳をお持ちの方とその介護者(1名)は無料

【主催】(財)市川市文化振興財団 【後援】市川市 【協力】NPO 法人遅筆堂文庫プロジェクト 市川市文学プラザ



8歳 東京大田区馬込の自宅前 髪飾りはハナ紙で作った



通訳ガイド時代にソ連で 気に入っていたゴールドの服で



鎌倉の自宅居間で (2003年 撮影/三宅敦)

2006年の5月は、米原万里の作品に親しんでいた読者には、哀しい初夏になりました。奇抜な発想力と逞しい筆力、そして大らかな朗らかさと高い精神性を兼ね備えた作品群で、現代日本人の知性を愉かに揺さぶりつづけてくれていた作家、米原万里が世を去ったからです。まだ56歳でした。

それから4年—米原万里の若すぎる死を惜しむ声は高まるばかり、彼女の遺した作品はますます大勢の読者に支持され、さらに翻訳を通してお隣の韓国をはじめ海外にまで愛読者を増やしています。

なにしろ米原作品ときたら間口が広く、話題は爆笑もの下ネタ小咄から世事万端、さらに政治、経済、教育、言語の分野にまで及び、その上、奥行きが深い。しかも話の運びはいつもキビキビとしていて痛快この上なし。下ネタの小咄から始まったバカバカしい議論が、いつの間にか深遠な人生哲学へと展開して、まるで曲芸名人の華麗な技を見ているよう。

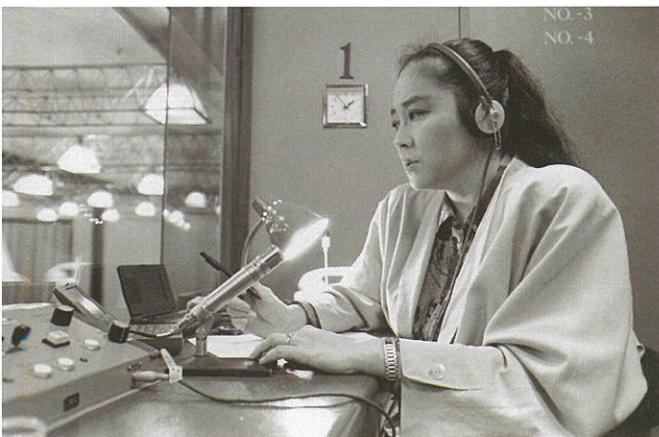
そう、米原万里は、マジメさが芸術の要諦だと、いまだ錯覚しているわたしたちに、「読むこと、それ自体が快樂である」という、ごくごく当たり前のことを教えてくれた作家でした。ヘンにマジメな道德家の揃ったこの国に、いったいどうして米原万里のような、奇抜で愉快で痛快で、これまでに類を見ないダイナミックな作家が生まれたのでしょうか。

ここにご案内いたします「米原万里展」は、チェコスロバキアの首都プラハのソビエト学校でロシア語と西欧文明と激突した少女時代を、東京外語大や東大大学院でロシア文学を学んでいた青春時代を、そして旧ソ連邦や新生ロシアの要人—首相や大統領の通訳者として活躍した時代を追いかけながら、米原文学の基礎が築かれていくさまを窺おうとするものです。

もちろん、『不実な美女か貞淑な醜女か』（1994年）、『魔女の1 ダース』（1996年）、『嘘つきアーニヤの真っ赤な真実』（2001年）、『オリガ・モリソヴナの反語法』（2002年）、などを次々と発表、読売文学賞、講談社エッセイ賞、大宅壮一ノンフィクション賞、Bunkamura ドウマゴ文学賞など数多くの賞を受賞した作家時代の足跡を丁寧にたどることも忘れないようにしました。

直筆の原稿をはじめ、通訳時に使用した自作の資料集や用語集、創作のためのアイデアノート、また彼女が愛蔵していた絵画、その他、写真を数多く展示し、いまもまばゆく輝き続ける米原万里の全事業を振り返ります。

井上ひさし (財団法人市川市文化振興財団理事長)



同時通訳のブースで



◆京成市川真間駅から徒歩12分、JR市川駅から徒歩16分  
◆お車でのご来館はご遠慮ください

## 市川市芳澤ガーデンギャラリー

〒272-0826 千葉県市川市真間5-1-18 TEL 047-374-7687  
<http://www.tekona.net/yoshizawa/index.php>